



発行者 ● 社会福祉法人桐栄会
● 青森市浪岡大字椿沢字村元330番7
TEL 0172-62-9201
FAX 0172-62-9019
編集 ● 広報「とうえい」編集委員会



「今日は素敵なベストを着ていますね。」
「あら、あんたの髪もずいぶんいい髪だよー。」
魚の焼けるにおいのするグループホーム
いこいの食堂では、昼食前このように職員
と談笑する方や、配膳される方、静かに新
聞を読み食事を待つ方など様々です。
私達いこいの職員が掲げる理念の中に
「利用者があずましく暮らせるよう、明る
い笑顔と優しい言葉で接します。」という
一文があります。
これはいこい開設時に、利用者の方にどのように暮らして頂きたいかを考え、私達職員が話し合い決めたものです。この「あずましく暮らせるように」という言葉を入れたのには理由があります。
「楽しく」とも何か違う、「落ち着いた」とも何か違う……何かいい言葉がないものかと考えていた時、利用者の方の中には「静かに穏やかに暮らしたい」と願う方もいれば「毎日役割を持って活発に暮らしたい」と願う方もいて、必ずしも全員が「楽しく」や「落ち着いた」ではないのでは、という結論に達しました。
その方その方の「あずましい暮らし」があることを尊重し、私達職員がそれを支援していくければと思っています。悩みながらも笑顔は忘れず、これからも日々努力していきます。

新年度挨拶

社会福祉法人 桐栄会
理事長 中川 晴信



社会福祉法人桐栄会は、設立以来、今年の八月で満二十二年目を迎えます。

今になって設立当時を振り返ると、随分遠くまで来たなど、改めて感慨深いものがあります。

桐栄会としては、この二十二年の間に青森市浪岡地区と藤崎町常盤地区に、特別養護老人ホームを始め数多くの施設を開拓することが出来ました。

このことは、国・県・市町村及び幾つかの公益民間団体の助成の賜であり、更に、地域の方々の御理解と御協力によるものと感謝に耐えません。

特に、本法人の役員の方々の物心両面に渡る御支援には、ただ頭が下がる思いでいます。今後益々進むと予測されている少子高齢化の中で、施設の運営はより一層厳しくなつてくると考えられます。皆様の更なる御理解と御協力を得て、この荒波を乗り切つて参りました。いと考えていきます。

さて、当法人の職員は、利用者

の方々やその家族の方々、地域の方々や職員同志などに接するに当たり、「和顔愛語」と言う言葉をモットーにしていきます。

仏教用語に『和顏悦色施』という言葉があり、「常に微笑みをたえた穏やかな顔が人に喜びを与えるお互いの人間関係を良い方向に導くこと」を意味します。

また、「言辞施」という言葉があり、「心のこもった優しい暖かい言葉、これを愛語とも言って、心を伝え人を力づけ理解を深めること」の意味です。

『和顔愛語』は以上二つの言葉を組み合せたもので、「人と対話するとき、相手の身になつて自分の身体や能力で出来る心がけ・態度・言葉等による奉仕の実践を表現したもの」を意味します。



使いなれた家具や小物を持って来て自分なりのお部屋作りをしています。



ユニットケア特集

普段と変わらない暮らしをめざして その1

特別養護老人ホーム「ときわ」は、平成十五年四月、定員五十名の「ユニット特養」としてオープンし、今年で五年目を迎えます。

皆さんには、ユニット特養と聞いて、どのようなイメージを持たれるでしょうか? ときわ施設では、十名前後の入所者の居室がリビングを囲むように配置され、全室個室（トイレ・洗面所付き）で五つのグループに分かれて生活されています。

少人数のグループに分かれることによつて、

- 食事・入浴・行事など、暮らしの場を一つのユニットとして使いやすいように工夫しています。

- 暮らしをお手伝いする職員も固定配置されていて、『いつもの人』として顔なじみの人間関係が保てます。

- 暮らしを家庭的で、普通の家庭と同じような設備で、暮らしを実感できるような環境を提供しています。



参加者の送迎から始まり、手足リズム運動、頭の体操、レクリエーション、お茶会等を通して、褒める・認める・肯定することで脳を活性化させ、認知症を防ぐ教室です。

休むことなく参加された方も多い
くめでたく修了式を迎えることができました。

小林

認知症予防教室

在宅介護支援センターあずさは平成十九年度、藤崎町委託事業の認知症予防教室を、延べ四十二回行いました。

教室開始と終了時、かなひろい、MMS、バウムの各テストによりきちんととした評価を実施しています。

参加者の送迎から始まり、手足リズム運動、頭の体操、レクリエーション、お茶会等を通して、褒める

・認める・肯定することで脳を活

発化させ、認知症を防ぐ教室です。

在宅介護支援センターより

在宅介護支援センターは介護の必要な方、ひとり暮らし、または高齢者世帯で生活に不安のある方、認知症及び介護している家族の高齢者総合相談窓口です。

介護保険の有無を問わず相談・支援を無料で行います。介護に休みがないように、支援センターも年中無休です。電話や自宅訪問等により相談を受け、行政や関係機関と連携し対応、必要時はサービスの申請代行も致します。

悩み事を話すだけでもスッキリしますよ！ 一人で抱え込まず相談してください。介護に関わる皆さんのオアシスを目指します。もちろん守秘義務鉄則です。

●浪岡在宅介護支援センター ☎ 62-1212 ●在宅介護支援センターあずさ ☎ 65-2050



ユニットケアの基本は、利用者の方が今までどんな暮らしをしてきたのか、その暮らしに沿った生活をしていただくことがあります。

しかし、現実的には開設当初にくらべると介護度も高く、重度化されている利用者の方が多くなりました。

そんな利用者の方が望んでいる暮らしとは、どんな暮らしなのか？たとえ寝たきりの状態であつても、自分でできることや自分で決められることを見つけて、職員がそのサポートをしていくようにと日々模索奮闘しております。今後も、ユニットケアの目標でもある「寄り添うケア」「個別ケア」を目指して、頑張って行きたいと考えております。

赤石

家庭的な雰囲気を出すような環境を心がけています。



特養ときわ



真心込めたあたたかい家庭料理を
作ってお待ちしています。

ゆうゆう荘



ご飯を食べて笑顔になれるような
料理提供を心掛けております。

事業所の顔

今日は厨房です

社会福祉法人
桐栄会の事業

浪岡事業所

【介護保険指定事業】

◆特別養護老人ホームときわ

ゆうゆう荘

- ・介護老人福祉施設
- ・短期入所生活介護
- ・訪問介護
- ・介護予防短期入所生活介護
- ・介護予防訪問介護
- ・通所介護
- ・認知症対応型通所介護
- ・介護予防通所介護

◆デイサービスセンター悠悠

- ・認知症対応型通所介護
- ・通所介護
- ・介護予防通所介護
- ・介護予防通所介護

◆在宅介護支援センターあずさ

- ・居宅介護支援
- ・介護予防居宅介護支援
- ・認知症対応型共同生活介護
- ・介護予防認知症対応型共同生活介護

常盤事業所

【介護保険指定事業】

◆特別養護老人ホームときわ

ゆうゆう荘

- ・介護老人福祉施設
- ・短期入所生活介護
- ・訪問介護
- ・介護予防短期入所生活介護
- ・介護予防訪問介護
- ・通所介護
- ・認知症対応型通所介護
- ・介護予防通所介護



◎編集後記

フレッシュな新人職員も
加わり新年度がスタートし
ました。

これからも様々な情報を
取り上げ、「とうえい」の
発刊を楽しみにしていただき
けるよう頑張っていきたい
と思いますので、よろしく
お願い致します。

前田尚

感謝録

- ・浪岡野沢保育園
- ・女鹿沢小学校
- ・浪岡高等学校
- ・青森病院カラオケ愛好会
- ・常盤文化協会

順不同・敬称略

- ・浪岡在宅介護支援センター
- ・外出支援サービス
- ・ケアハウスしづか

【ケアハウス】

- ・在宅介護支援センターあずさ
- ・外出支援サービス



◎電話(代)
〇一七二一六二一九二〇一

◎電話(代)
〇一七二一六九一五二二五